

「キリストを通して天にある御国を受け継ぐ者」

エペソ 1:3～14

①神の御子の存在の回復

私たちの1番の祝福は「神の子」という存在にあります。世界の基が置かれる前(生まれる前)から私たちは選ばれていました。救われたから神の子とされたというのも間違えではありませんが、神の子として選び取られていたから救われたのです。ここに全ての祝福が備えられているのです。愛する家族(人)がいなかったら、そこは天国ですか?みんながそこにいなければ、神の国は完成されません。神様は神の子というアイデンティティを回復して、全てのことをなされます。そのために、御子を捧げられたつまり「神の一人子、長子の権利」を回復したのです。祝福は神の子という“存在”に与えられるのです。神様が造られたこの世界は存在(Being)があって行動(doing)があります。私たちの存在が明確になった時、私たちの生きる目的がわかってきます。目的がなくなってしまうとさまよってしまいます。私たちは「行動が変われば存在が変わる」と思っています。信仰を持つ・御言葉を読む→神の子になっていく・・・それはそうです。しかし本来は、逆です。神の子だから神を愛する→礼拝する→みことばを読みたくなる→神が行くところに一緒に行くようになるのです。救いとは「行動の変化」のみにとどまるのではなく「存在の変化」もたらすのです。

②神の子には約束の聖霊が注がれます!

「また、天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」(マタイ 3:17) 聖霊は父から子に注がれる油注ぎです。これが「愛」です。この完全な愛が注がれていてここからすべてが始まるのです。イエス様の使命もここから始まりました。神様が使命の前に私たちに「愛の油注ぎ」をしてくださいます。サタンが荒野の誘惑の中でイエス様から奪おうとしたのはこの「神の子」というアイデンティティです。それに対してイエス様は「御言葉」で退けました。「権威、富、所有」といったこの世の価値ではなく、神の御言葉の権威、守りの中に生きる者が「神の子」であり勝利するのです。「価値があるものになれば愛してあげる。」これがこの世の価値観ですが、それは違います。私たちは「神に愛されたから価値がある」のです。だから愛されるためにがんばらなくていいのです。私たちは愛されるために様々な要求をされてきました。そのために「愛されなくなったらどうしよう」その不安からがんばってしまいます。この世の愛は「要求」から始まります。でも神様は何も要求しません。神様の言う「～しなさい」は「私との関係の中に入ってきなさい」ということで

す。聖書には『心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ』『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』とあります。これは要求ではなく「愛の中にいなさい」ということです。イエス様は一人で全世界の人々を救うことができますが、あえて私たちを用います。それはその救いの喜びを私たちに味わわせたいからです。神の愛にとどまる時に自然と実を結びます。(ローマ 8:15, 16) まだ自分を奴隷の霊に縛っているとしたら、それは自分自身が決断して縛っているだけです。自分が自分をどう思っているのかが1番大切です。信仰はあっても自尊心が低いという人が多いですが、人は自尊心の大きさではばたくことができます。「自分にはそんなものはない」・・・こんな風に自分で制限をつけてしまうことは、信仰の世界では全く謙遜ではありません。だから神様が見ている目線にかえていく必要があります。信仰とは「神様が私をどう見ているか」・・・これを取り戻すことが「信仰の回復」です。私たちには自分を狭めてしまう「かご」はもうないのです。「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」(使 1:8) 彼らが1番得られたもの・・・それは恐れ(リミッター)が外れたということです。リミッターを解除するのは「神の愛」です。

③神の国を受け継ぐ使命を受けたものです

私たちの信仰は誰かがつないでくれたものです。私たちにもその信仰を受け継いでいく使命があります。「霊的な父・母」になるのです。今、教会の1番の問題はいつまでも聖徒が求めてばかりということ。私たちは子どもを生み出す人になる必要があります。いつまでも子供であってははいけません。人を育てていく時に、自分も成長します。「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」(マタイ 28:19, 20) 私たちの中にはイエス様という「王の王」がいます。その信仰、弟子のDNAを私たちは受け継いでいます。これを受けついでいく時に、私たちを通して御国が受け継がれていきます。一人一人が神の愛をの中に留まり続け、受け継いでいくものとなっていきましょう!

(要約者:岩崎 祥誉)

(9月17日)